



Title	職場・業務紹介 附属牧場
Author(s)	金田, 宜士
Citation	北海道大学農学部技術部研究・技術報告, 2, 55-55
Issue Date	1995-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35296
Type	departmental bulletin paper
File Information	2_p55.pdf



附属牧場 金田宜士 (技術部 環境・飼育系 家畜飼養班)

私がこの職場を選んだのには訳があります。私が高校3年の時に兄が持病の喘息で他界し、そのため自分が家を継ぐ事になり、その当時家政科系の短期大学に進もうと思っていたのを撤回し、とりあえず地元（富山県）の農業系短期大学に入学し、卒業後の進路として農業者大学校進学と公務員を考えていましたが、前者は受験資格等の条件が私に合わなくて結局後者にしました。その公務員も、一次試験は何とか合格したけど、二次の方はまさか合格するとは思わず、通知が届いてびっくりしました。そして、その通知が届いたその日の夜に北大の人事課から電話がかかってきました。僕としては、実家の職業の本場北海道には一度行ってみたいし、どうせ修行するなら本場でみっちりやりたいし、私は実は教師関係の仕事に興味を持っていたといつかなろうとも思っていたから、就職をOKしました。

仕事は、一年を通じて行う家畜の飼養管理や、牧地の管理、施設の維持管理、作業機の維持管理などがあります。

a. 家畜管理

家畜の育成・繁殖・分娩の管理で、例えば軽種馬は、春に交配し、翌年の2月から6月に分娩します。それから、子馬を競市の開催にむけて育てていき、親馬は分娩後日を見て交配をするというのが一連の流れです。勿論それに伴って家畜の病気・怪我の手当てや、厩舎・牛舎の清掃も絡んできますし、夏には放牧するので、放牧後の見回りも行います。

b. 圃場管理

家畜の食料となる飼料作物の栽培管理で、牧場内にある採草地や畑に、各種作物を播種、育成、収穫をする事です。収穫後の採草地や畑や放牧地に肥料の散布もしますが、放牧地に限っては専門の業者に任せています。また、飼料に関係する機械の管理などがあります。

c. 教育・研究業務

当牧場は教育・研究機関の施設なので、学生の実習や、大学院生の研究の補佐なども行っています。例えば、夏と冬の学生実習における学生の指導などです。

施設：庁舎・厩舎・牛舎・育成牛舎・農機具庫

設備機器：トラクター 5台、モアコンディショナー 2台、ヘイベラー 3台（ロールベラー 2台）
マニュアルブレッダー 2台、フィードミキサー 2台、
ブルドーザー・傾斜地万能作業車、フォーレージハーベスタ、コーンハーベスタ、ロールチョッパー
ストローチョッパー 各1台、スチール気密サイロ 3基
面積：蹄耕法造成傾斜地放牧地 60ha
飼料圃（牧草・コーン） 50ha
牧草放牧地 20ha
林間放牧地 327ha
その他 9.05ha

仕事は毎日が修行という気持ちで取り組んでいます。諸先輩方からのアドバイスが、のちの自分の血となり肉となっていくように注意して聞いているつもりですが、なかなかうまくいかないようで、度々同じ注意を受けているのが実情です。おまけに、家の家系は男がのんきなのが特徴なので職場でも何度も注意されています。

当牧場は家庭的な雰囲気のある温かい職場です。ここに赴任してきた頃の頃は何をやるにしてもおっかなびっくりでしたが、先輩方は実に厳しく又優しく指導していただき、この職場を選んで良かったと思いました。希望としては、一刻も早くこの職場で一人前になって富山に凱旋したいと思っています。まあ、とりあえずは、僕とコンビを組んで厩舎の仕事をしている高橋さんを少しでも楽にしてあげられるように頑張りたいと思っています。